

全国からよせ不当処分攻撃への怒り

日刊 動労千葉

80.8.2

No. 498

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九(公衆)三三三・二七二〇七

国鉄当局が動労千葉に対して去る五月三十一日発表した布施組織部長への不当解雇をはじめとする約三百名に及ぶ大量不当処分攻撃に対し、われわれは、全職場からの総決起をもって闘い抜いてきた。そして、全国の闘う仲間への闘う支援、連帯の着実な拡大もかちとられてきた。

不当処分攻撃の本質を見極め闘いを貫徹！

「四・一五処分」攻撃のねらいは、第一に、五五・一〇ダイ改(三五万人体制合理化)、さらには、五六・三(ジェット輸送期限切れ)を見すえた国鉄当局の動労千葉解体、組織破壊攻撃であること。

第二に、この処分が動労「本部」反動分子の要請によって強行された国鉄当局・「本部」一体となつた攻撃であること。すなわち、労農連帯をもって反合、三里塚ジェット闘争を闘い、八〇年代労働運動の職闘的再生をめざす動労千葉に対する諸反動からの階級的憎しみをこめた組織解体攻撃であること。とりわけ動労「本部」反動分子の動労千葉破壊攻撃の意図はすでに明白であった。つまり国鉄当局に対し、動労千葉への不当処分攻撃を要請すると同時にこの処分攻撃に乗じて、八月全国大会までになんとか「再建千葉地本」のデッチ上げを策動しようとしてきたのだ。

われわれは、こうした不当処分攻撃の本質とねらいをしっかりと見すえ、総決起体制をもって長期強じんな闘いに決起したのである。

そして、とくに六月二八日・七月五日の二回にわたる「再建千葉地本」支部」デッチ上げ策動を完全な失敗に追い込み、反動分子内部は、ガタガタとなるまでに追い込まれている。

社会党、反対同盟、支援共闘などが抗議行動にたちあがる！

五・二五三里塚現地集会での「当局・『本部』反動分子一体となつた動労千葉への不当処分策動弾劾決議」の採決をかわきりに、五月二十七日、反対同盟・ジェット闘争支援共闘会議による千葉鉄局への抗議、五月二十九日、社会党千葉県本部の千葉鉄局への抗議と「処分策動中止」の申入れがあいついで行なわれた。そして、七月一八日には、国鉄本社に対し、千葉県選出社会党衆議院議員新村勝雄氏、小川国彦氏(代理)、反対同盟、支援共闘などが処分撤回、抗議の申入れが行なわれている。

このような闘いを通して全国の多くの闘う仲間から不当処分抗議と動労千葉の闘いに対する支援連帯の声がつけつきとよせられ着実に拡大している。

全国の闘う仲間と連帯し、闘い抜こう！

われわれは、自らの闘いに自信と確信を一層深め、職場からの大衆的決起をもって「本部」反動分子の動労千葉破壊、「再建」デッチ上げ策動を一つ一つ粉碎し、五五・一〇ダイ改阻止、乗務員運用合理化粉碎、五六・三ジェット輸送延長阻止をめざし断固闘い抜こう。

くびげんまのちからをふる
動労千葉支援連帯の声！

◎八重樫友美(全金本山労組委員長)
「四・一五津田沼」に関する国鉄当局の対応は、動労「本部」の策謀をテコとした全く許せない不当極まりない処分であり、私達もともに撤回まで断固たたかう。

◎丸山照雄(日蓮宗僧侶)
事実を顛倒した今回の処分は、正当性がまったくありません。速やかに処分撤回を求めます。

◎出島権二(内灘住民の会)
こんなことを黙認すると今後使用者は、どんどん組合解体を押し進めんとするであろう。

◎奥鉄男(国有地耕作組合代表)
動労千葉の皆さん、がんばって下さい。日本原の農民も支援しています。お互に団結してがんばろう。